

なんたん 社協だより

第47号
2021. 1



美山中学校生徒会の皆さん

特集

はなれていても、心はつながれる！
今こそ、ボランティア

目次

特集 今こそ、ボランティア	P. 2～5
地域活動支援センター そよかぜ日吉 移転のお知らせ	P. 6
活動レポート	P. 6
新年のご挨拶／善意のご寄付	P. 7
「\それでいいのだ／それぞれの一歩」を発行しました！	P. 8



南丹市社協マスコット
「ニヤンたん」

特集

はなれていても
心はつながれる！

今こそボランティア

Part
1

ボランティア活動をしている 方々で意見交換をしました

令和2年11月、現在ボランティア活動をされている方々にお集まりいただき、座談会を開催しました。座談会では、これまでの活動や現在の活動の状況、そしてこれからの方々の活動についてお話をいただきました。

お集まりいただいた方々



山本 孚彦さん(園部町)
音楽グループ「フレージーモンキーズ」
谷 香依さん(園部町)
「園部吹奏楽団」
関 としさん(八木町)
子育てボランティア「すくすくやぎっこ」
八木 美沙子さん(八木町)
音楽グループ「ママさんプラス」
鍋田 和夫さん(日吉町)
サロン「ようきはったカフェ」
下村 花恵さん(日吉町)
地域交流活動「みらい塾」
大萱 安雄さん(美山町)
民話の語りべ「語りべ 安じい」
芦田 千里さん(美山町)
地域交流活動「KAYA」



鍋田さん
大萱さん
下村さん
芦田さん

活動のきっかけは人それぞれ

南丹市には様々なボランティア活動がありますが、活動を始めたきっかけも様々です。「学生の時から吹奏楽をしていました。子どもができますから、なかなか楽器に触れる機会がない事をストレスに感じていましたが、知り合いの子育て中のママに誘っていただき今のグループに入りました」そう話すのは八木さんです。「子育て世代が集まるので、親同士のストレス解消になったり、子どもの遊び場にもなっています」と活動を振り返ります。

山本さんは「定年退職後、かつての同級生と久々に会う機会がありました。すると、偶然サックスを持っている人が数名いることが分かり、せっかくなのでそのメンバーでグループを結成することになりました。練習はみんなが集まる場です。毎回気持ちが落ち着きます」と、活動の楽しさについて話します。



あなたの得意が 活かせる場所！

南丹市のボランティア活動は「気軽に・誰でも」始めることができます。楽器の演奏など、特技を活かすもよし、「読み聞かせをしてみたい」など、初心者も大歓迎です。詳細は南丹市社協発行の情報誌「ボラン」をご覧ください。

コロナ禍での活動

令和2年4月、緊急事態宣言の発令後、南丹市のボランティア活動のほとんどが中止となりました。「3月頃から練習を自粛していました。自粛期間中は気持ちが落ち込みましたね」そう話すのは谷さんです。「最近は少しずつ練習をするようになりましたが、一番楽しいのは発表の場です。これからの活動は色々工夫が必要なのかもしれません」と今後の活動を心配されています。

最近、感染症対策をした上で親子のイベントを開催したという関さんは「参加者は決して多くなかったですが、スタッフ自身も楽しむことができました。ボランティア活動は私たち自身も楽しむことが大切なんだと改めて感じました」と話します。

ボランティア同士の つながりも大切に

これらの活動について考える中で、ボランティア活動者同士のつながりも大切です。南丹市にはボランティア活動者で作る団体「ボランティア連絡協議会（通称、ボラ連）」があります。美山町のボラ連で会長を務めている大萱さんは「美山のボラ連には、中学生から高齢の方まで幅広い世代が参加しています。多種多様な活動があり、非常に楽しいです」と話します。

ボラ連に加入したグループ同士で交流会が開かれたりしていますが、その存在を知らない人も多いようです。下村さんは「ボラ連の存在は今日初めて聞きました。日吉町にたくさんのボランティア活動があることを知って驚きました」と話します。「広報については、紙に加えSNSなどの電子媒体でお知らせがもらえると嬉しいですし、その方が若い世代の人も関心を持ってもらえるかもしれません」とボラ連の広報活動についても議論しました。

座談会の中で、皆さん「活動することで自分自身が元気になる」と口々に話されていたのが印象的でした。今は大変な状況かもしれません「誰かのために・自分のために」ボランティア活動を始めてみませんか。

コロナ禍における様々な地域活動を応援する冊子「それでいいのだ/それぞれの一歩」が完成しました。
こちらもぜひご覧ください。詳細は8ページへ！

南丹市には現在1,075人、107グループのボランティア活動があります。ですが、今年はコロナ禍で様々なイベントやボランティア活動が停止しました。今回の特集では、ボランティア活動について改めて考えます。



▲ママさんプラス（写真上）とすくすくやぎっこ（写真下）の活動の様子。いずれもコロナ禍前。

こんなサポートがあります

●ボランティア登録をしよう

ボランティア活動を始める際は、南丹市社協へ登録することをお勧めします。登録することで、活動助成や一部の公共施設で減免が受けられたり、保険に加入できたりと特典が盛りだくさんです。

●ボランティア連絡協議会に加入すると…

ボラ連は、ボランティア活動者で作る団体です。加入することで、新たな出会いが生まれたり、活動の悩みの相談や、情報交換をすることができるはずです。

今できるボランティア

「ボランティア活動を始めよう！」と思っても、今は気軽に外出するのが難しい状況です。そんな中、家庭に居ながら手軽にできる収集ボランティア活動が注目されつつあります。

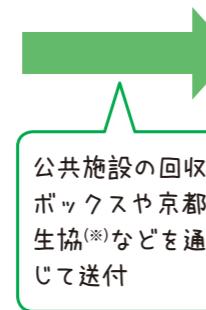
 収集ボランティアって？

収集ボランティアは、自宅にある資源を企業や団体へ送付する活動です。集められた物は、ワクチンや車いすなどに換えられ、社会福祉や国際支援の物資として活用されます。普段何気なく捨てている物も、有効活用すれば資源となる取り組みです。海に面していない南丹市ですが、大堰川や由良川の上流に住む者として、活動をきっかけにゴミ問題や海洋プラスチック問題にも関心を持ってみませんか。



活動の流れ

- 未使用はがき
書き損じはがき
- 未使用切手
- 使用済み切手・商品券・
図書券などの金券
- 外国のお金
- コンタクトレンズの空容器
- ペットボトルキャップ



いろいろな
物資として
届けられています



※京都生協「書損じハガキ等回収キャンペーン」……京都生協では、組合員から書き損じハガキや使用済み切手を回収し、NGO団体へ送付する活動をしています。集まった物品は食糧等に換えられ、発展途上国へ送られます。

 京都府立
園部高校の
取り組み

園部高校では「アイシティecoプロジェクト」活動を行っています。

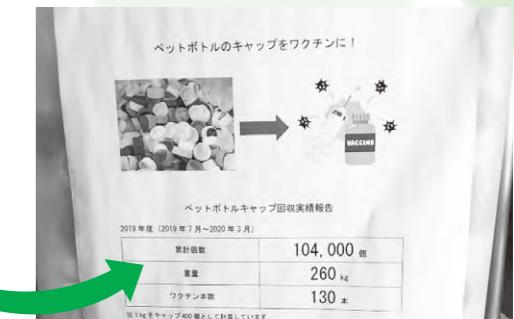
この活動は、HOYA株式会社 アイケアカンパニー（コンタクトのアイシティ）が使い捨てコンタクトレンズの空ケースを回収するものです。2010年～2012年まではアイシティ内ののみの取り組みでしたが、2013年より様々な企業、学校と連携しています。

この活動で得た収益は、日本アイバンク協会へ寄付されます。


 南丹市立
美山中学校の
取り組み

美山中学校では、生徒会の活動の一環として、ペットボトルのキャップを回収しています。南丹市役所美山支所や振興会、小学校、保育所などに回収BOXを設置し、地域住民に協力を呼びかけています。

集まったキャップは、南丹清掃株式会社を通じてJCV（認定NPO法人世界の子どもにワクチンを 日本委員会）へ寄付されます。



令和元年度は、キャップが104,000個集まり、ワクチン130本を寄付することができました。協力していただいた地域の方に実績報告をするために、張り紙等で知らせました。



美山中学校生徒会の皆さん



Q 活動のきっかけは？

私たちの先輩が、ペットボトルキャップがワクチンに変わることを知り、学校内で収集し始めたのがきっかけです。回収ボックスを学校に買ってもらつ

たのですが、想像より大きなサイズだったので、地域の施設などにも置いてもらおうと話し合いで決めました。

Q 大変なことは？

集まったキャップを数えたり、仕分けをするのが大変です。また、コロナ禍で、せっかく地域の方に集めてもらったキャップを自分たちで回収できない事が辛いです。

Q これからチャレンジしたいことは？

ベルマークを集める活動もしてみたいですね。また、地域で何かイベントがあれば、ボランティアとして積極的に参加したいと思います。

今回は、南丹市内の二校を取材させていただきましたが、他の小中学校でも同様の取り組みが広がっています。

ボランティア活動に関するお問い合わせはこちらまで

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

園部事務所 TEL 0771-62-4125
日吉事務所 TEL 0771-72-0947

八木事務所 TEL 0771-42-5480
美山事務所 TEL 0771-75-0020



移転
しました

地域活動支援センター そよかぜ日吉 (おいで家)

【開所日】

月～金曜(9時～16時) ※年末年始、祝日を除く

【お問合せ先】

地域活動支援センターそよかぜ日吉(おいで家)

TEL: 0771-74-3010



※車でお越しの方は、広野グラウンドに駐車していただきますよう、お願いします。

活動レポート



八木町音訳ボランティア「やまびこの会」が 緑綬褒章を受章されました

昭和58年の設立以降、約37年間にわたって活動してきた八木町音訳ボランティア「やまびこの会」が、この度緑綬褒章を受章されました。音訳ボランティアとは、視覚障がいのある方に向けて市内の広報誌を音訳し、CDにして届ける活動です。代表の大内さんは「地域の皆さんへの支えおかげで活動してこれました。これからもがんばりたいです」と話されていました。

清掃でまちをキレイに!

令和2年11月、美山町と旧京北町の郵便局局長会とその夫人会「やまゆりの会」が合同で田貫峠(日吉町～旧京北町)の清掃活動を行いました。この活動は、郵便局の地域貢献として始められ、今年で6年目を迎えます。この日は空き缶やペットボトルなど、1時間でゴミ袋50袋が集まりました。



新年のごあいさつ



南丹市
社会福祉協議会
会長 吉田 進

新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、当会の運営・活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、日本でも感染が拡大し死者も多数に上りました。また、コロナ流行により、学校の長期休校や緊急事態宣言に基づく各種経済活動の自粛要請、史上初めてのオリンピック開催延期など、社会は大混乱となりました。さらには、地域の会合や各種イベントもやむなく中止されたり、家族旅行や帰省、近親者との会食までも躊躇しなければならないほど、私たちのふだんの暮らしに多大な影響を与えていて、コロナ禍の不安は今な

お続いています。コロナ感染予防のため、マスク着用や手指消毒、3密回避などの徹底が叫ばれるようになり、私たちの生活様式は一変しました。

ともすれば、人と接することがあたかも悪いようになり、人々のつながりがいっそう薄れてしまうのではないか、そしてその先に、社会的に弱い立場にある人が世の中から孤立してしまうのではないかということをとても心配します。

3密回避のためにソーシャルディスタンス(=社会的距離)を十分取りましょうなどと言われますが、先ほどの心配が取り越し苦労に終わるよう、決して「心の距離」まで遠ざけてしまわないようにしなければならないのではと思います。

一日も早く平穏な暮らしが取り戻せることを切に祈るばかりですが、私たちは、手をこまねいて待つばかりではなく、「心の距離」はしっかりと密にするために、それぞれができるところから取り組むことが大切なのではないでしょうか。

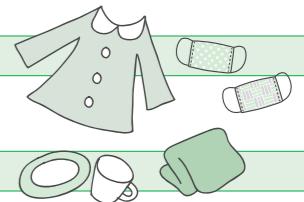
社協は、こんな時だからこそ「ふだんのくらしのしあわせ」のために、皆様に寄り添う存在としてより一層精進したいと決意を新たにしています。

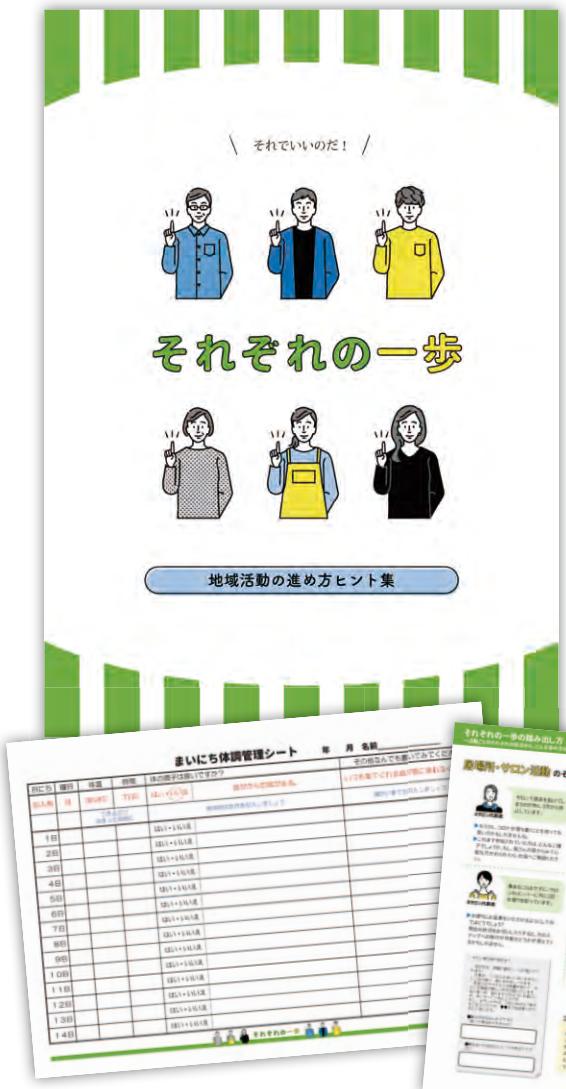
皆様のご健康とご多幸を祈念いたしますとともに、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

善意のご寄付ありがとうございました

令和2年9月1日～
令和2年11月30日受付分

南丹市ゴルフ協会 会長 森 炳次 様	30,000円	ひより舎のために
京都山坊主 様	4,938円	園部城祭り出店の売上金の一部を福祉のために
竹井 富夫 様	300,000円	亡母の供養に
松本 司 様	100,000円	亡父の供養に
岩井 茂雄 様	100,000円	亡父の供養に
匿名寄付 6件 計	154,000円	
郵便局長夫人の会 やまゆりの会 様 ぞうきん、軍手多数		福祉のために
南丹・京丹波部会		
マルホ発條工業株式会社 様 いそべ餅多数		福祉のために
谷内 博 様 もち米3kg		福祉のために
八木町老人クラブ連合会女性部 副会長 井上 多恵子 様 タオル多数		福祉のために
山口 直子 様 手縫いの巾着袋多数		福祉のために
JA女性部 文字 美代子 様 布マスク多数		福祉のために





＼ それでいいのだ！ ／

それぞれの一歩

発行しました！

新型コロナウイルス感染症の拡大により、皆さまの日常生活にも影響があったことと思います。住民の皆さまから、地域活動に関するお問い合わせやご意見などをいただく中で、社協としては、【やりたい気持ちをみんなで応援し、不安な気持ちに寄り添える地域づくり】を進めて参りたいと思います。地域の皆様はお一人お一人様々な想いを持っておられ、どれもが尊重すべきものだと受け止めています。そのような状況の中でも、それぞれのお立場やお考えから少しでも歩みを進めていただけたらとの想いを込めてこの冊子を作成しました。

この冊子が、住民の皆さまと一緒に福祉のまちづくりを進めていくためのきっかけになれば幸いです。

冊子をご希望の方は、お気軽に社協までお問合せください。

猫の里親大募集！

猫の里親になっていただける方を募集します。

日吉町に一人でお住まいの方が自宅で可愛がっておられた猫たちですが、昨年夏に飼い主さんが高齢者福祉施設へ入所されました。

現在は、民生委員さんやふれあい委員さん等、近所の方々が持ち回りで世話をしていますが、いつまでも続けるのは難しく「愛情を持って飼っていただける人がどこかいらっしゃらないか」と引き取り先を探しています。

猫が好きな方やご興味のある方は、下記までお問い合わせください。



▲猫たちは計5匹います。女の子は避妊手術済みです。

問い合わせ先 南丹市社会福祉協議会 日吉事務所 TEL 0771-72-0947